



山武市歴史民俗資料館



〒297-0024 茂原市八千代 2-10  
 千葉県教育庁東上総教育事務所  
 TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143  
 E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp  
 第6号

平成28年2月3日(水)発行

## 特集!!

### 東上総管内で実施された「公開研究会」のご紹介

事務所だより「第2号」に、公開研究会を予定している学校（東上総管内）の案内を掲載いたしました。前号までに、いくつかの研究会の様子を掲載いたしました。今号では未掲載の「公開研究会」の様子をご紹介します。

#### 「平成27年度特色ある道徳教育推進校における公開研究会」

千葉県では、道徳教育の充実を図るために、小・中・高等学校が連携した道徳教育の推進や県が作成した道徳教材の活用を含めた研究を行い、その成果を普及させることを目的に、この研究会を開催しています。平成27年度は、小・中・高等学校を併せて20校のご協力を得ることができました。

当日は、県の映像教材を効果的に活用し、多様な考えを引き出すための工夫が数多く見られる授業が展開されました。また、多くの先生方のご参観をいただき、充実した研究会となりました。

平成27年3月には、道徳の指導要領が改訂され、本年度から移行期に入っています。道徳教育が大きく動いている今こそ、私たち一人一人が道徳教育に対する高い意識を持ち、意欲的に取り組むことが大切です。「すべては子どもたちのために」を合言葉に、さらに研鑽を積んでいきましょう。



11月17日(火)  
長柄町立長柄小学校



10月15日(木)  
白子町立白子中学校

#### 「平成26・27年度

#### 千葉県教育委員会食育指導推進拠点校・学校給食研究指定校」授業公開

千葉県では、地域における食育指導実践力を高めることを目指して地域における食育指導推進事業を実施しており、その一環として授業公開が開催されました。

地元夷隅郡市の小中学校をはじめ、県内各地、遠くは野田市や香取市から、小中学校の管理職、教諭、養護教諭、栄養教諭をはじめ、調理師等の方々まで多くの方の参加がありました。

#### 「勝浦の恵みで きらきら笑顔 !!

#### ～生涯健康で心豊かな人づくりをめざして～

という研究主題で公開授業（下表の3学級）が行われました。

授業では、児童一人一人が、思い思いに意見を出し合い、活発な意見交換が行われていました。

全体会では、研究主任の原田教諭等による2年間にわたる本研究の取組に関する発表がありました。最後に、千葉県総合教育センターの朝倉真由美 研究指導主事による指導・助言がありました。

様々な知識や技術を持った方々を招いて、「食」に関する授業実践をすることで、子どもたちの「食」への関心が高まり、「食べる」ということの意味（おいしく食べる、マナー、栄養、食材など）について考え、意識して食事をするようになった等の成果が現れています。



11月6日(金)  
勝浦市立勝浦小学校

教科・領域	学級	単元・主題名	授業者
生活	2年1組	もっと知りたいまちの大すき	吉野 里美 教諭 相馬佳奈子 栄養教諭
道徳	4年1組	いのちをいただく	原田由加里 教諭
総合	5年1組	B-1 グランプリを開催しよう	高岡 顕慎 教諭

## 「平成27年度理科の観察・実験指導等に関する研究協議実施事業」

本事業は「各学校の研修等で中核的な役割を担う教員を対象に、理科の授業における観察・実験指導の充実を図るため、小中学校の理科指導の接続を改善するとともに、観察・実験の指導力の向上を図る」という趣旨で実施されています。今年度は、3年間で全ての小中学校が参加する事業の最終年度となります。

山武地区の参加者は28名でした。午前は、福岡小学校で5年「もののとけ方」、東金中学校で3年「水溶液とイオン」の授業展開がありました。午後は、小中学校に分かれ、小学校は「豆電球の分解」、中学校は「地震発生装置の製作」の観察・実験の実習と指導法に関する協議を行いました。

長生・夷隅地区の参加者は38名でした。午前は、緑ヶ丘小学校で5年「電磁石の性質」、西陵中学校で2年「電流と磁界」の授業展開がありました。午後は、小中学校に分かれ、小学校は「粒度表の作成と堆積実験」、中学校は「地震発生装置の製作」の観察・実験の実習と指導法に関する協議を行いました。

参加した先生方から「異校種の授業を見ることができ、とても参考になりました」「1日に同じ系統の授業を参観できたことはとても良い機会でした」「安く簡単に作ることでできる自作教材で参考になりました」「教材製作だけでなく、その使い方や工夫についても話し合うことができ、勉強になりました」等の感想をいただきました。



【山武地区】  
10月28日(水)  
東金市立福岡小学校  
東金市立東金中学校

【長生・夷隅地区】  
12月8日(火)  
茂原市立緑ヶ丘小学校  
茂原市立西陵中学校



## 「千葉県教育研究会 第52回理科教育部会研究発表大会<夷隅大会>」

大多喜小学校が「ふしぎを楽しむ児童の育成」、大多喜中学校が「考える楽しさを実感する理科学習」という研究主題を掲げ、小学校6学級（内2学級は生活科）、中学校2学級で授業が展開されました。

大多喜小学校、大多喜中学校の先生方と夷隅教育研究会理科教育部会の先生方による度重なる指導案検討及び授業研究の成果が児童生徒の学びにとってもよく表れていました。

午後は、千葉工業大学未来ロボット技術センター所長 古田貴之先生 に「ロボット技術と未来社会」という演題で記念講演をしていただきました。内容の面白さに加え、古田先生の話術であったという間に時間が過ぎてしまいました。会場には実際にロボットが搬入され、動く様子を見ることもできました。

その後、小学校、中学校それぞれで物理、化学、生物、地学の分科会に分かれ、4名ずつの研究発表をもとに活発な協議が行われました。



11月13日(金)  
大多喜町立大多喜中学校  
大多喜町立大多喜小学校

## 文部科学省委託 「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」

県内各地から170名を超える先生方の参加の下、開催されました。「自分の考えをもち、表現できる子どもの育成～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた国語科の学習～」という研究主題で、公開研究会が行われました。

午前は、1・3・4・6年で国語科の授業が展開されました。視覚化や共有化などユニバーサルデザインの視点からわかりやすく工夫された教材が用意され、子どもたちは集中して学習に取り組んでいました。また、音読発表では、学年ごとに息を合わせた力強い「八郎」の群読が披露され、参加された先生方もその迫りに圧倒され、盛大な拍手をおくっていました。

午後は、全体会に引き続き、植草学園短期大学主任教授 佐藤慎二先生による「通常学級の“特別”ではない支援教育・ユニバーサルデザインへ」という演題の記念講演が行われました。ユニバーサルデザインが求められる背景や学級経営において大切にすること等の話があり、参加者はこれからの授業や学級経営の参考になることをたくさん伺うことができました。



11月26日(木)  
白子町立白湯小学校